

教えて歯医者さん！ 子どもの歯並びについてIV

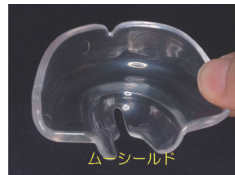
はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
3/5・15（要予約）
問）ゆきなり小児・矯正歯科

いつから矯正治療を始める？（反対咬合）



不正咬合の種類によって始めた方がよい時期は異なります。もっとも早く治療を始めた方がよい不正咬合に反対咬合があります。反対咬合のお

子さんは3歳児健診で4～5%の割合で見つかります。「適切な時期に、短時間で治療する」のが理想ですが、本人の成長が深くかかわっており、矯正治療が長期にわたることもあります。今まで本人の協力が望みにくい早期時期（3～4歳の乳



ムーシールド（柳澤宗光先生が考案された安価で簡便な矯正装置）は、就寝時のみの使用で、目的を達成することが可能です。かみ合わせの安定の意味も含めて、1年間をめどに使って頂き

ます。その後は、定期的に咬合を観察していく事が必要です。ムーシールドは本人が積極的に使用しないと、効果は望めませんし、永久歯に生えかわっても矯正治療が必要になる場合もあります。しかし、効果が現れない場合でも反対咬合の原因の一つでもある舌の位置の異常を改善することもできますので、無駄にはなりません。治療を始める時期が遅くなると、反対咬合の程度がひどくなる傾向もあります。そこで、より早期に矯正治療を開始することによって「正しい成長発育ラインに乗せる事」が大事になってきます。

気になる場合は小児歯科専門医、矯正歯科専門医へご相談ください。HPは「ゆきなり」で検索すると簡単です。過去の「親子のひろば」もダウンロードのページに掲載しています。

ゆきなり小児・矯正歯科
【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL:095-857-8211



院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医

日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会



待合室横の屋外キッズスペース